

第76巻（2022年）特集

1月号〔No.1〕	消化器外科 ロボット支援手術の導入と手術教育
2月号〔No.2〕	上部消化管領域再建手技—最近のトピック
3月号〔No.3〕	肝胆膵外科手術における術前・術後ドレナージ
4月臨時増刊号〔No.4〕	高難度肝胆膵外科手術アトラス 2022
4月号〔No.5〕	大腸外科医のための骨盤解剖学
5月号〔No.6〕	鼠径部切開法を見直す
6月号〔No.7〕	炎症性腸疾患の治療戦略と手術
7月増大号〔No.8〕	肝臓外科におけるスタンダード肝切除
8月号〔No.9〕	胃癌・食道癌に対するロボット支援手術—A to Z
9月号〔No.10〕	癌外科医必読 腹膜播種の治療戦略と手術

第75巻（2021年）特集

1月号〔No.1〕	消化器・一般外科領域の手術教育を考える
2月号〔No.2〕	食道癌・胃癌手術におけるリンパ節郭清の理論と手技
3月号〔No.3〕	肝胆膵外科における再切除と再手術—最新の治療戦略
4月臨時増刊号〔No.4〕	消化器・一般外科における Common Disease の手術—エルステから高難度まで
4月号〔No.5〕	大腸肛門外科における消化管ストーマ造設術とその関連手技
5月号〔No.6〕	消化器・一般外科医のための腹部外傷外科手術講座
6月増大号〔No.7〕	上部消化管手術におけるトラブルシューティング—困難症例・偶発症への対策
7月号〔No.8〕	解剖学的変異を考慮した下部消化管手術
8月号〔No.9〕	膵臓外科の基本手術 2021 —修練医がマスターすべき術式とは
9月号〔No.10〕	消化器外科における高齢者手術—各施設の工夫と留意点
10月号〔No.11〕	腹腔鏡・内視鏡合同手術（LECS）の現状と展望
11月号〔No.12〕	修練医必携 腸閉塞の治療戦略と手術
12月号〔No.13〕	最新知見に基づく消化管外科の再手術—適応と術式選択

第74巻（2020年）特集

1月号〔No.1〕	肝胆膵外科における低侵襲手術と臓器温存手術
2月号〔No.2〕	鼠径部ヘルニア手術を極める
3月号〔No.3〕	大腸癌手術におけるリンパ節郭清の理論と手技
3月臨時増刊号〔No.4〕	消化器外科手術の論点 2020 —誌上ディベートと手術手技
4月号〔No.5〕	内視鏡外科手術に必要な局所解剖—肝胆膵脾
5月号〔No.6〕	内視鏡外科手術に必要な局所解剖—食道・胃
6月号〔No.7〕	膵頭十二指腸切除に必要な外科解剖と手術手技
7月増大号〔No.8〕	大腸外科手術におけるトラブルシューティング
8月号〔No.9〕	解剖学的変異を考慮した上部消化管手術
9月号〔No.10〕	肝胆膵外科における Conversion Surgery
10月号〔No.11〕	直腸脱の手術
11月号〔No.12〕	消化器・一般外科手術における感染対策・周術期管理
12月号〔No.13〕	内視鏡外科手術に必要な局所解剖—結腸・直腸

第73巻（2019年）特集

9月号〔No.10〕	ICG 蛍光法を用いた肝胆道外科手術
10月号〔No.11〕	腹腔鏡下大腸癌手術におけるメインデバイスの選択
11月号〔No.12〕	いまだからこそ見直される乳房温存手術
12月号〔No.13〕	大腸外科における低侵襲手術の最前線

その他のバックナンバーは、弊社ホームページ（<http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>）をご参照ください。
在庫のお問い合わせ・ご注文は、弊社ホームページ、TEL 03-3811-7184、FAX 03-3813-0288 にて承ります。
最新の第76巻（2022年）の定価（税込）は通常号 2,970 円、増大号 4,950 円、臨時増刊号 8,800 円です。